

会 議 録

全部記録 要点記録

| | |
|------------------------|---|
| 1 会議名 | 令和5年度ひめじ創生戦略会議 |
| 2 開催日時 | 令和5年5月25日（木曜日） 15時～16時25分 |
| 3 開催場所 | 姫路市役所 10階 第4会議室 |
| 4 出席者 | ひめじ創生戦略会議委員 13人、市長、事務局 |
| 5 傍聴の可否及び傍聴人数 | 傍聴可 傍聴人なし |
| 6 議題又は案件及び結論等 | <ol style="list-style-type: none">副会長選任地方創生交付金対象事業等の実施結果について姫路市 SDGs 未来都市計画の進捗状況について（報告）1については、原案どおり承認を得た 2については、1～7は「総合戦略の KPI 達成に有効であった」、8は「目標達成に向け順調に推移」との評価を得た |
| 7 会議の全部内容又は進行記録 | 詳細については別紙参照 |

| | |
|-------------|---|
| <p>清元市長</p> | <p>1 開会（15:00）</p> <p>挨拶</p> |
| <p>事務局</p> | <p>2 委員委嘱（15:06）</p> <p>3 委員紹介（15:06）</p> <p>前任から交代となった委員の紹介</p> |
| <p>会長</p> | <p>4 議事（15:10）</p> <p>（1）副会長選任</p> <p>副会長 姫路獨協大学人間社会学群教授 松田 泰至 氏</p> |
| <p>事務局</p> | <p>（2）地方創生交付金対象事業等の実施結果について</p> <p>（3）姫路市SDGs未来都市計画の進捗状況について</p> <p>【説明】</p> |
| <p>会長</p> | <p>事務局からの説明に関してご質問、ご意見があれば発言をお願いしたい。</p> |
| <p>委員</p> | <p>交付金事業の指標（KPI）について、所管省庁のガイドラインはあるのか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>各省庁からガイドラインは示されていない。ひめじ創生戦略に基づいて、地方創生交付金事業を実施している。姫路市では、令和3年度からひめじ創生戦略を姫路市総合計画に統合しており、総合計画の目標値と整合を図って指標（KPI）を設定している。</p> |
| <p>会長</p> | <p>「姫路城世界遺産登録30周年記念イベントを中心とした滞在型観光の推進」事業の報告に平成中村座が見当たらないが。</p> |

| | |
|------|---|
| 事務局 | <p>本日、審議していただいている内容は令和4年度事業であるため、記載していない。平成中村座は令和5年度事業となる。</p> |
| 会長 | <p>「東京の大学生と連携中枢都市の大学、高校生による都市のイメージアップと地場産品の販路拡大」事業について、昭和女子大学と連携されているが、同大学を選ばれた理由はあるのか。</p> |
| 事務局 | <p>地場産品を使った商品開発を進める中で、企業とのコラボを積極的にされている大学を探したところ、昭和女子大学に到ったということである。</p> |
| 清元市長 | <p>同大学の理事長の坂東眞理子さんは、内閣府の男女共同参画局長も務められ、行政とのつながりもあり、令和3年には姫路市と昭和女子大学とで実践的なプロジェクト型学修を目的とした連携協定を締結した。大学の学生に姫路に来てもらい、姫路の学生といっしょに城下町を散策したり、ディスカッションしたりして、新たな商品を開発したということで、姫路の学生にとっても刺激があったのではないかと思います。コロナ禍で人流制限があり、頻繁に交流できなかったのが少し残念であった。</p> |
| 会長 | <p>姫路市は若い女性の転出が多いので、女性目線で事業を企画するのは大切だと思う。ものづくり分野でも女性が活躍できるように、理系や情報系の大学に支援をすると、労働力の確保や出生率の改善にもつながると思う。</p> |
| 委員 | <p>医療用ロボットの研修を実施することで、女性の医師の確保の契機になったりするのか。</p> |
| 清元市長 | <p>最近では女性の医師の数が増えてきて、兵庫県立はりま姫路総合医療センター（はり姫）を中心とした研修を受けられる人が多い。出産・育児の際にドロップアウトされ、なかなか復帰が難しいという課題もあるが、ロボットのシミュレーターは若い人たちを中心に使っていただいているようだ。</p> |

| | |
|------|---|
| 委員 | 若い医師が姫路に来ていただける体制は重要だと思う。 |
| 委員 | 「ハーブの里山プロジェクト」は、今後も継続して頑張ってもらいたい。山之内の活性化にもつながる。昭和女子大学との取り組みは今年度も実施するのか。 |
| 事務局 | 2025年度までを計画期間としており、大学のゼミで活動されているので、今後も継続して取り組んでいただけたらと考えている。 |
| 会長 | 「ウィズコロナ時代のニューノーマルな雇用促進パッケージプラン」について、実績の中には、なかなか厳しいものがあるが、補足説明はあるか。 |
| 事務局 | インターンシップイベントの参加者が大学3年生であり、昨年度の実績として就職内定者は1人であったが、今年度は26人と大幅に増加した。事業効果が出始めたと考えている。 |
| 事務局 | 今回の実績は、コロナ禍でのリアルな対面での実施が難しかった状況でのものとなるが、今後、対面でのインターンシップ等が復活してくることで、さらに実績が増えることを期待している。 |
| 会長 | AI面接を導入するメリットは何か。 |
| 事務局 | 最初の段階でAIが判定するので、人事担当者の負担軽減が一つある。 |
| 清元市長 | 面接官のバイアスがなくなり、客観性が高くなる。表情や視線などからも情報を読み取るので、マニュアルを読んで対応するよりも、人間力の判断ができると聞いている。また、昇進の際に利用するのも有効だということである。 |
| 会長 | 質問以外にも何か意見や感想があれば発言してもらいたい。 |
| 委員 | SDGsの15秒動画について、これまでの行政のイメージとは違ってい |

| | |
|------|---|
| 事務局 | <p>て、よいと思う。</p> <p>市民や企業の方々が、さまざまな活動をする中で、常にSDGsに対する意識を持ってもらいたく、馴染みやすく耳に残るような動画に仕上げた。</p> |
| 委員 | <p>世界遺産登録30周年記念事業について、脱コロナの第一歩となると思うので、ぜひ頑張ってもらいたい。</p> |
| 清元市長 | <p>鏡花水月などのイベントを通して、宿泊者数も回復してきており、今年度は大手前イルミネーションの実施も考えているので、継続した観光需要の創出に努めていきたい。</p> |
| 委員 | <p>これから大阪万博の2025年に向けて新たな施策を展開されると思うので期待している。観光で言うと、観光コンベンションビューローのアドバイザーをしていただいている先生の関係で、大正大学の学生と交流する機会があった。姫路おでんをいたく気に入り、彼らなりにSNSで発信したり、学食でメニュー化してみたりといった広がりを見せている。そういった若い力を活用できればもっと姫路のまちが活性化すると思うので、そのような観点も含めて事業に取り組んでももらいたい。</p> |
| 委員 | <p>小さい頃に姫路城付近を散策する、千姫の話聞く、そんなことが大きくなった時に、姫路への愛着につながっていくと思う。</p> |
| 委員 | <p>東京で暮らしていると、姫路市に対して何かイメージを持っている人は少ないと感じる。城があるくらいで。今説明のあったような事業を展開していくことは素晴らしいと思うので、粘り強く姫路のまちを発信していただき、若者、女性が姫路に行きたいと思うようなきっかけにもなればと期待する。</p> |
| 委員 | <p>小さい子どもや女性をターゲットとするなら、アニメや漫画といった媒体を活用してみるのも面白いと思う。アニメ版の千姫物語とか。アニメは文化にもなっているし、海外にも発信できるし、いろいろ考えてみるのも</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>面白いと思う。</p> <p>「SDGs×グリーン」グローバル人材育成事業でメインターゲットとしている小・中・高校生に姫路市をよく知ってもらい、やがて進学や就職で市外に行っても戻ってきてもらえるよう、その手法も含めて今後の取り組みを検討していく。</p> |
| 委員 | <p>刷り込み教育はすごく大事だと思う。姫路城に足を運ぶにしても、現実として費用がかかるので、例えば、バスのチャーター代を補助してあげるといったことも、姫路に愛着を持つことにつながっていくと思う。</p> |
| 事務局 | <p>地方創生という大きなテーマの中で、子どもや女性、これは本当に重要なポイントだと認識している。交付金を有効活用し、姫路の人口を維持していけるような取り組みを進めていきたい。</p> |
| 委員 | <p>コロナ禍で目標値を決めるのも、事業分析も苦慮されたと思うが、これまでの経験を生かして、次年度以降も各事業に力を入れて取り組んでもらいたい。</p> |
| 委員 | <p>コロナ禍にあって、なかなか事業の進捗も気の毒な面もあったと思う。地道に継続し、下地を作ってきたということを考えると、どの事業も意味があったと思われる。今までがあるからこそ、これから展開していけるのかなと思う。</p> |
| 委員 | <p>地域の方々と関わる機会があるが、本当に地道な活動を日々されている。さらにこの交付金でそういった取り組みを引っ張っていただき、よりよい活動になっていくことを期待する。兵庫県も起業に力を入れているので、起業プラザの運営にも引き続きご協力いただければと思う。</p> |
| 会長 | <p>それでは、地方創生交付金事業等の実施結果の評価に移りたいと思う。1から7については、「総合戦略のKPI達成に有効であった」、8については「目標達成に向け順調に推移」との評価でいかがか。</p> |

| | |
|----|-----------------------------|
| 委員 | 異議なし。 |
| 会長 | それでは、そのとおり評価したい。これで議論を終了する。 |
| | 5 その他 ※連絡事項 |
| | 6 閉会（16：25） |